

# Samoan Life Memories vol.2

2025.6.27

Malo(サモア語でこんにちは)!JICA 海外協力隊 2024 年度 3 次隊、太平洋の島国・サモアの St.Mary 中高等学校に PC インストラクターとして派遣中の 関根明希乃です。

## ◆大家さん一家に浴衣着付け体験◆

大家さん一家は、車でスーパーに連れてってくれたり、たまにご飯をくれたり、娘のテテと一緒に登下校してくれたり、何かとお世話になっています。世の中ギブ&テイクなので、浴衣を着付けして写真を撮ってあげました。写真はごく一部ですが、計 15 人の大家族の大家さん、皆に撮って撮って言われ 15~18 時半までずっと着付け&撮影大会。かなり疲れたし蚊にも刺されました笑 これで借りは返せたかな。



大家さんの長男の奥さんと  
生後6か月の娘



テテは2種類の浴衣を着ました



大家さんの奥さんと4番目の子供・テテ



テテは15歳の高1で、私の配属先の学校の生徒です



## ◆プレタシデイ&学校専属カメラマンに◆

私の配属先の St.Mary 中高等学校(女子校)には制服があります。でも、たまに"プレタシ"というサモアの伝統衣装を着て登校する日があります。生徒達から撮って撮ってと頼まれ、2~3 時間で200枚ほど撮りました…笑 校長先生から、学校の専属カメラマンになって、学校の Facebook を開設し投稿・管理して欲しいと頼まれました！



生徒会の子達



6歳のトゥプ



## ◆伝統的な村にホームステイ体験◆

同僚の先生のポウリが、金土日の週末で実家に連れて行ってくれました。彼女の出身は、私が普段いるサモアのウポル島の北側・"アピア"の反対側、南側の"Potashi"という伝統的な村です。金曜日の放課後、車で 1 時間ほどかけてウポル島を縦断。アピアとは違った、自然が豊かで美しい村でした。ポウリには6 人の子供がいて、その中でも 10 歳のチャーリー、8 歳のリゼッタ、6 歳のトゥプとよく遊びました。特にウケたのが、にらめっことアルプス一万尺です！



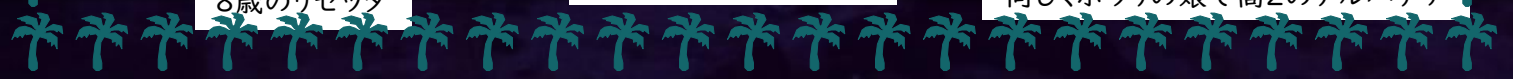
8歳のリゼッタ



左が10歳のチャーリー  
にらめっこの様子



同じくポウリの娘で高2のアルパチナ



## ◆ビーチファレに泊まって来ました◆

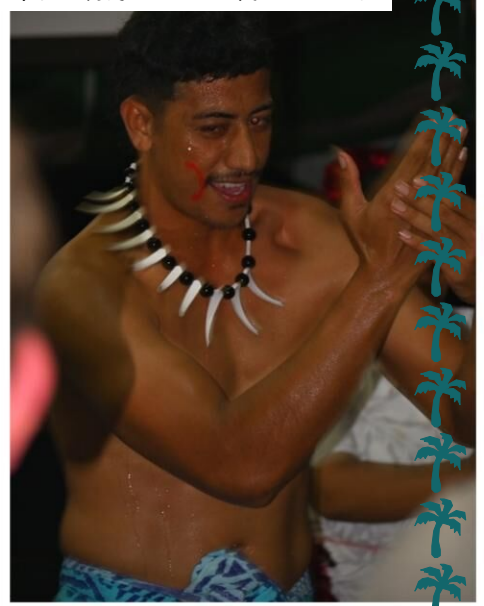
先輩隊員達と、サモア日本大使館の派遣員の方と一緒に、サモアで一番有名なビーチ・"Lalomanu beach"沿いにあるTaufua beach faleに泊まって来ました!ビーチファレとは、写真のような蚊帳一枚の小屋です。思う存分泳ぎ、夜はサモアのダンスショーを見たり、満点の星空を見たりしました。『南十字座』など、南半球でしか見れない星を見ることが出来てうれしかったです!ただ、オセアニアでは野犬が凶暴で、襲われて噛まれ大怪我する人も沢山います。夜中、蚊帳の入り口に野犬が来て入ろうとしてきて、怖かったです。トイレも少し離れていて、明け方4時にトイレに行きたくなりましたが、犬が怖くて我慢しました泣



朝・夜ご飯付きで1泊約5000円



先輩隊員達や大使館の方と



サモアのダンサー

## ◆ソーラン節の練習、頑張ってます!◆

St.Mary にはフィジー人の先生が2人、トンガ人の先生が2人、ガーナ人の先生が1人、そして日本人の私が1人いて、全校生徒が4グループに分かれ各国の文化を学び、7/3のInternational dayで発表します。

5月後半から6月前半までは週に1回1時間の練習、6月後半からは毎日1時間半、『君が代』、『スピッツの『チェリー』』、『ソーラン節』の練習をしています。スピッツのチェリーは、歌詞の全てをローマ字読み、英訳を書いて印刷して渡し、予想以上に早く上達しました。初めは、『変な踊り!』と馬鹿にされていたソーラン節。少しずつ生徒達も愛着が湧いてきたようです。



教員はプレタシという民族衣装を着るよう指定されています。洗濯機がなく毎日手洗いなので、洗濯物を増やさない為プレタシのまま踊っています。



**Manuia le aso!**  
(良い1日を)

2025. 6. 27

JICA海外協力隊 2024 年度3次隊

サモア・PCインストラクター隊員

関根明希乃